



小さな拠点づくり

～「地域運営組織」のか・た・ちと実現方法～



平成 29 年 3 月 1 日 (水) 日本消防会館 (ニッショーホール) 2F
14:30～18:00 (14:00 開場)

東京都港区虎ノ門 2 丁目 9-16

(銀座線虎ノ門駅 2 番・3 番出口徒歩 5 分 / 日比谷線神谷町駅 4 番出口徒歩 10 分)

プログラム

1. 国による取組の説明 14:30～14:50
内閣府地方創生推進事務局
2. 基調講演 14:50～14:30
小田切徳美：明治大学農学部教授
・地域の課題解決を目指す地域運営組織 — その量的拡大と質的向上に向けて — 最終報告
- 休憩 (10 分) -----
3. 先発地域の事例解析 15:40～17:50
〈ファシリテーター〉
 - ・小田切 徳美：明治大学農学部教授
 - ・板持 周治：島根県雲南市政策企画部地域振興課主査
 - ・高橋 由和：NPO 法人きらりよしまネットワーク事務局長〈先発事例地域〉
 - ① 高知県梶原町「集落活動センター」
 - ② 長野県飯田市「地域自治組織」
 - ③ 石川県七尾市「鉦打ふるさとづくり協議会」
4. 挨拶 17:50～18:00
・山本幸三 地方創生担当大臣 (予定)

— 閉会 —

〈主催〉 内閣府 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局
〈共催〉 総務省 農林水産省 国土交通省
〈後援〉 全国市長会 全国町村会

■登壇者紹介



小田切 徳美（明治大学農学部教授）

神奈川県生まれ。農学博士。東京大学及び同大学院で農業経済学・農政学を学ぶ。高崎経済大学助教授、東京大学助教授を経て、平成18年より現職。明治大学農山村製作研究所代表。地域の課題解決のための地域運営組織に関する有識者会議座長（内閣官房）、ふるさとづくり有識者会議座長（内閣官房）、暮らしを支える地域運営組織に関する研究会座長（農水省）など農村政策の専門家として多くの要職を兼任。

著書には、「農村は消滅しない」（単著、岩波書店）、「農山村再生に挑む」（編著、同）、「地域再生のフロンティア」（編著、農文協）など多数。



板持 周治（島根県雲南市政策企画部地域振興課主査）

1991年旧木次町役場採用。農林関係、総務関係部署を経て2004年の町村合併により雲南市役所政策企画部政策推進課に配属。2012年4月に同部地域振興課に異動し、現在5年目。主に小規模多機能自治を担当。異動初年度は制度検証・改善策の立案を担当し、異動2年目は改善策の実行と法人格取得方策の提言を、3年目からは全国的な普及・推進に雲南市として取り組み、2015年2月に発足した小規模多機能自治ネットワーク会議に事務局として関わっている。



高橋 由和（NPO 法人きらりよしじまネットワーク）

山形県飯豊町生まれ。サラリーマンを辞め、吉島地区社会教育振興会の事務局長に就任、2007年にNPO法人きらりよしじまネットワークを設立し、事務局長に就任する。

今までの地域づくりのシステムを根本から見直し、住民ワークショップを取り入れた地域の合意形成を推進。地域を経営する全世帯加入のNPO法人として持続可能な新しいまちづくりに挑む。また、コミュニティ支援のためのネットワーク型中間支援組織おきたまネットワークサポートセンターを設立し、地域課題を複数力で解決するシステムを構築している。

受賞歴に平成21年度地域づくり総務大臣表彰、荘内銀行ふる里創造基金地域貢献大賞受賞等がある。

■本日の配布資料

- ① 本日の次第・登壇者紹介
- ② 国による取組み説明資料
- ③ 基調講演資料
- ④ 先発地域発表資料
- ⑤ 手引
- ⑥ アンケート